

## プログラム名

---

東京慈恵会医科大学脳神経外科専門研修プログラム

## 募集定員

---

## 研修期間

---

4年

## プログラムの特徴

---

1. プログラムは、単一の専門研修基幹施設（以下「基幹施設」という）と複数の専門研修連携施設（以下「連携施設」という）によって構成され、必要に応じて関連施設（複数可）が加わります。なお専門研修は、基幹施設及び連携施設において完遂されることを原則とし、関連施設はあくまでも補完的なものです。当プログラムの構成は以下の施設からなります。

基幹施設：東京慈恵会医科大学附属病院

連携施設：大森赤十字病院、富士市立中央病院、東京慈恵会医科大学葛飾医療センター、東京慈恵会医科大学附属第三病院、東京慈恵会医科大学附属柏病院、脳神経外科東横浜病院、川崎幸病院

関連施設：日本赤十字社医療センター、医療法人秋葉病院、明徳会佐藤第一病院、宇都宮第一病院、志仁会三島中央病院、聖マリアンナ医科大学附属病院、山口大学大学院医学系研究科、東京医療センター、社会医療法人禎心会病院、網走脳神経外科・リハビリテーション病院、彩の国東大宮メディカルセンター、NTT 東日本関東病院、湘南東部総合病院、総合新川橋病院、横浜医療センター、厚木市立病院

2. 基幹施設における専門研修指導医に認定された脳神経外科部門長、診療責任者ないしはこれに準ずる者が専門研修プログラム統括責任者（以下「統括責任者」という）としてプログラムを統括します。当プログラムでは 村山 雄一 です。

3. プログラム全体では規定にある以下の要件を満たしています。

(1) SPECT / PET 等核医学検査機器、術中ナビゲーション、電気生理学的モニタリング、内視鏡、

定位装置、放射線治療装置等を有する。

(2) 以下の学会より円滑で十分な研修支援が得られています。

- ア 脳腫瘍関連学会合同(日本脳腫瘍学会、日本脳腫瘍病理学会、日本間脳下垂体腫瘍学会、日本脳腫瘍の外科学会)
- イ 日本脳卒中の外科学会
- ウ 日本脳神経血管内治療学会
- エ 日本脊髄外科学会
- オ 日本神経内視鏡学会
- カ 日本てんかん外科学会
- キ 日本定位・機能神経外科学会
- ク 日本小児神経外科学会
- ケ 日本脳神経外傷学会

(3) 基幹施設と連携施設の合計で原則として以下の手術症例数を有する。

- ア 年間500例以上(昨年手術実数 2198 )
- イ 腫瘍(開頭、経鼻、定位生検を含む)50例以上(昨年手術実数 243 )
- ウ 血管障害(開頭術、血管内手術を含む)100例以上(昨年手術実数 917 )
- エ 頭部外傷の開頭術(穿頭術を除く)20例以上(昨年手術実数 41 )

4. 各施設における専攻医の数は、指導医1名につき同時に2名までです。
5. 研修の年次進行、各施設での研修目的を例示しています。
6. プログラム内での専攻医のローテーションが無理なく行えるように地域性に配慮し、基幹施設を中心とした地域でのプログラム構成を原則とし、遠隔地を含む場合は理由を記載します。
7. 統括責任者および連携施設指導管理責任者より構成される研修プログラム管理委員会を基幹施設に設置し、プログラム全般の管理運営と研修プログラムの継続的改良にあたります。